



< 新製品資料 >

2008年 4月 3日

累計販売数 200万個突破した大人気商品「プチプチ」に続く、にできるシリーズ第2弾！

『おげん エダマメ』4月26日発売

～何回つまんでもなくならない！？思わずやみつきになる無限につまめる「エダマメ」が登場～

株式会社 バンダイ

本社：東京都台東区駒形 1-4-8

社長：上野和典、資本金：246億円

株式会社バンダイは、キーチェーン型玩具『おげん エダマメ』(顔デザイン全12種+シークレット1種/各630円・税込)を4月26日に発売します。

『エダマメ』は、累計販売数200万個を突破した『プチプチ』(819円・税込)に続く、「にできるシリーズ」第2弾商品です。エダマメの皮の上から3か所の豆を押すと豆がつまみ出され、手を離すと引っ込む仕組みになっており、枝豆をつまみ出す感触をいつでもどこでも何度でも楽しめます。プニッとした感触が、思わずやみつきになり、何度もつまみたくなる商品です。

3粒の豆のうち、真ん中の豆には顔が描いてあり、飛び出してくる表情も楽しめます。顔の種類は全12種類で、どんな顔が描かれているかは、豆をつまみ出してからの楽しみです。その他、顔ではないデザインが描かれているシークレットも1種あります。

主なターゲットは20代～30代の男女で、雑貨店、百貨店、専門店の玩具売場や玩具専門店等で販売し、2008年9月までに100万個の販売を目標としています。



「 エダマメ 」 (顔デザイン全12種 + シークレット 1種 ・ 各630円 / 税込)

(C)2008 BANDAI・WIZ

『エダマメ』がもっと楽しくなる！？

枝豆王子による「エダマメ・マメ知識」

誰よりも枝豆に詳しい「枝豆王子」とは！？

「枝豆王子」児島啓介さんは、全国枝豆農家行脚の旅などを経て、誰よりも枝豆に詳しい知識を持つ「枝豆研究家」です。児島さんは、長年の研究の末、枝豆のゆで方決定版「3・3・マメ拍子の法則」を完成させました。また、学童保育の先生、シンガーソングライターとして全国の枝豆農家の方に感謝の気持ちを届ける歌を作る活動なども行っています。近々、枝豆の本も発売する予定です。



(児島啓介さんのホームページ <http://everymame.blog35.fc2.com/>)

枝豆は「大豆」です！

意外と知られていない事実ですが、枝豆は、まだ熟していない青い大豆を枝つきで刈り取ったものです。大豆の生涯(5ヶ月)のうち、農家の方に枝豆と呼ばれている期間はわずかに3~5日間で、枝豆はその時期を見極めて収穫されています。

千葉県野田市には、エダマメの が・・・！

千葉県野田市は枝豆の名産地で、街中にユニークな枝豆モチーフのものが存在しています。枝豆がデザインされている「まめバス」というコミュニティバスが走っていたり、健康づくりのための「えだまめ体操」が開発されています。そして、野田商工会議所が作った「エディ」という枝豆キャラクターも存在します。



6月15日は「枝豆の日」

野田商工会議所まちづくり協議会では、収穫時期にあたる6月15日を「枝豆の日」と制定しています。今年は6月8日に、収穫祭にあたる「旬宴会」というイベントが実施される予定です。

「ビールに枝豆」には理由がある・・・！

枝豆には「メチオニン」という肝臓を保護する成分が含まれており、ビールのおつまみとして枝豆を食べることは、美味しいだけでなく、大変理にかなったことなのです。

< 商品概要 >

商品名	: むげん エダマメ
希望小売価格	: 各630円 (税込)
発売日	: 2008年4月26日
種類	: 顔デザイン全12色+シークレット1種
メインターゲット	: 20~30代の男女
販売ルート	: 雑貨店、百貨店、量販店の玩具売場や玩具専門店など
本体サイズ	: H70×W20×D15 (mm)
重さ	: 約7g
電池	: 不要
セット内容	: 本体、ボールチェーン、取扱説明書
素材	: 皮・・・PVC、マメ・・・ABS

本商品は、食べられません



バンダイ ホームページURL : <http://www.bandai.co.jp>
エダマメ ホームページURL : <http://www.asovision.com/edamame/>